



おもちゃ病院で見つける"第二の人生"

これからが面白い“第二の人生”を、自分らしく 生き生きと！
地域デビューの選択肢に、ボランティアのおもちゃ病院活動を通じた地域貢献を加えませんか？



H29年度糸島市地域活動振興奨励者顕彰

こわれたおもちゃの無料修理活動から始まったおもちゃ病院伊都国は、10年を経て活動分野も広がっており、この活動の継続・発展を支えて下さるスタッフを募集しています

あなたのご経験が、
きっと役立ちます

現役世代の方々も歓迎します



おもちゃ病院で見つける"第二の人生"

- 目次 -

1. はじめに (団体概要)

- ・活動開始: 2007(H19)年、
- ・現在の会員数: 23名、
- ・活動紹介ビデオ: 2017(H29)年6月のNHK総合TVで、全国に放映の「おもちゃ病院で見つける“第二の人生”」



2. おもちゃ病院活動の概要とスタッフの役割

(ドクター・ナース・マネージャー)

3. 募集上の補足説明

4. むすび

5. 質疑応答・懇談



ボランティア団体 おもちゃ病院伊都国



おもちゃ病院活動の概要

基本的活動からユニークな活動が派生

1. 基本的活動: 壊れたおもちゃの無償修理 (年間約30回開設)

- (1) 壊れたおもちゃを子どもの目の前で無償修理
- (2) 思い出の品の修復 (壊れてしまったオルゴールなど)

2. おもちゃ修理から派生したユニークな活動

- (1) 小中学校でのおもちゃ修理体験学習支援 (10年間に7校で16回)
- (2) リユース(地域内のおさがり循環)支援

- ① 「かえっこ」とのコラボレーション (9年間に8イベントで29回)
- ② 「おもちゃ箱」(不要なおもちゃを引取り、点検整備して育児施設や福祉施設などに寄贈) (年間寄付数約100個) 寄贈不適品はかえっこに使用



リユース支援活動に共通の理念:
もう一つのR(Repair: 修理する)で支える環境の3R
(環境の3R; Reduce(ゴミの発生抑制), Reuse(再使用), Recycle(再資源化))



おもちゃ病院伊都国の活動理念

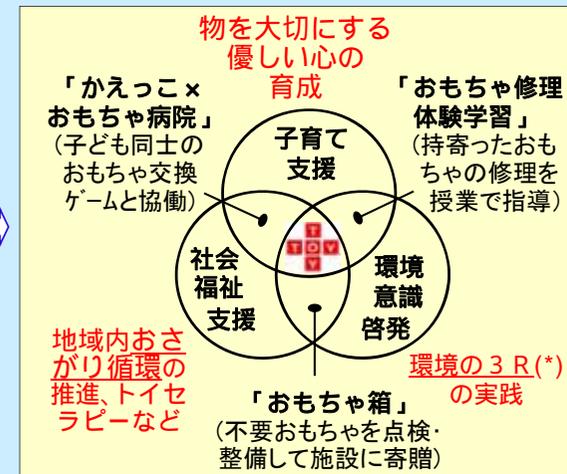
(理念があとからついてきた)

原点: 壊れたおもちゃを
子どもの目の前で修理



生き返ったおもちゃを
手にした時の
子ども達の笑顔が
生きがい

よかじゅんじゅん!



よかこと3本柱 + 高齢者の生きがいづくり

*: 環境の3R; Reduce(ゴミの発生抑制), Reuse(再使用), Recycle(再資源化)



おもちゃ病院伊都国の 成果

石の上にも 3 年！ 継続は力なり！

1. 年間修理数；約 450 個 (修理不能は約 1 割)
2. 施設への年間おもちゃ寄付数：約 100 個
3. 表彰受賞歴：社会的な評価の証

年目	年度	受賞内容
3	H22	福岡県 市民教育賞 (地域社会教育賞)
5	H24	福岡県 ふくおか共助社会づくり表彰 (地域貢献活動部門賞) 糸島市 元気高齢者表彰 (3名)
6	H25	朝日新聞社 朝日のびのび教育賞 (おもちゃ修理体験学習他) 福岡県 「70歳現役社会づくり」施策の規範に採択 福岡県 ふくおか地域づくり活動賞
7	H26	糸島市 社会福祉大会表彰 (優秀賞) 糸島市 元気高齢者表彰 (4名)
9	H28	環境大臣表彰 (循環型社会形成推進功労者)
10	H29	糸島市 地域活動振興奨励者顕彰



ドクター・ナース・マネージャーの役割

仕事の内容と、横断的役割分担



ドクター
(男・女)

1. おもちゃの修理 (壊れたおもちゃの無償修理)
(1) 予約受付と当日受付、(2) 故障原因追及と修理計画、(3) 修理部品・材料の準備と修理作業、(4) 動作確認と修理完了品の引き渡し
2. おもちゃ修理体験学習 (小中学校の授業でおもちゃ修理体験を支援)
(1) 学習の意義や内容の事前説明、(2) 持寄りおもちゃから教材選択、(3) 学習当日は 考えさせる・助言する・相談に乗る・教える・手助けする・褒める、(4) 教材外のおもちゃや修理未完おもちゃやを修理して返却
3. リユース支援 (不要おもちゃのお下がり循環支援)
(1) かえっこ×おもちゃ病院 子ども同士のおもちゃ交換ゲーム「かえっこ」とのコラボレーション
(2) おもちゃ箱 不要おもちゃを引き取り、点検・整備して施設に寄贈



ナース
(男・女)



マネージャー
(男・女)

団体活動全般に亘る PDCA(*)サイクルの推進
*: Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)

役割分担
(自己申告)

代表
副代表
企画渉外
情報
器材管理
リユース
会計庶務
受付



おもちゃ病院伊都国の 活動を通じた スタッフの生きがい

1. 成果が目に見える喜び
(頼りにされる・感謝される喜びを実感)
2. スタッフ自身の喜び
 - ① おもちゃの構造への興味と、試行錯誤・創意工夫・難題解決の楽しみ
 - ② スタッフ間の交流・相互啓発や歓談による向上感・連帯感・楽しさ
 - ③ 子ども達の健全育成や、環境意識の啓発を通じて、特技を活かして地域社会に貢献している達成感・充実感
 - ④ 社会的評価で自信と誇り
数々の公的表彰受賞、広報誌・新聞・テレビ・ラジオへの度々の紹介など
 - ⑤ 会の発展 (運営が円滑に捗り、活動が活性化している満足感)



治って
嬉しいな
良かった
ねえ



知恵と手を出し合って



ドクター・ナース・マネージャーの募集

補 足 事 項

0. 基本は会則(多数の会員が協力し活動する規範)、最高決定機関は総会
1. 会員区分: ① 通常会員(18名)、② 支援会員(3名)、③ 休止会員(2名)
2. 全員が役割を分担して「総活躍」(役割は重複あり):
正副副代表、企画渉外係、情報連絡係、器材管理係、リユース係、受付係、会計庶務係、監事、事務局、**会場設営は全員参加**、
3. 報告・連絡・相談と情報の共有化 (会員にネット利用を推奨)
ミーティング結果やイベント結果などは欠席者・休止会員にもEメールで配信
4. 活動資金: (1) サンキュー募金、(2) 一部出張開設の謝礼金、(3) 寄付金、(4) 助成金、(5) 表彰の賞金、(6) 通常会員の会費(月額1,000円)
5. スタッフの処遇: (1) 入会金:ゼロ、(2) 無給、(3) 支給品; ①作業エプロン、② バンダナ、③ 名札、④ USBメモリー、⑤ 交通費(日額450円)、⑥ 参加手当 (おもちゃ修理体験学習や一部の出張開設; 日額約1,000円)
6. その他 (1) ドクターの工具は使い慣れた自前+相互貸借、(2) 特殊工具や常用部品は団体で常備、(3) NPO法人格未登録、



第9回ボランティアフェア 新会員募集講座

む す び

人生は後半戦が勝負！

これからが面白い“第二の人生”
おもちゃ病院で
生きがいを見つけませんか？

シニアライフを
自分らしく
イキイキと

ご見学やお試し体験も準備しています

- (1) 2月24日(土)10時～15時
子育て支援センターすくすく
- (2) 3月10日(土)10時～15時
波多江公民館

お問い合わせ先

おもちゃ病院伊都国

検索

または ~~090-4518-4941(王藤)~~
080-8390-8154



生涯現役！自分らしく生き生きと

喜びと楽しみを分かち合う仲間達



H29年
新年会

H29年
10周年記念
・受賞記念
祝賀会



おもちゃ病院の誕生と成長の軌跡

スタッフの人数や開設回数の推移

- おもちゃ病院活動の始まり：H19年前原市子どもフェスタ
- スタッフの人数や開設回数・定期開設場所の推移など

誕生

成長

成熟

年目	年度	スタッフの人数	出張開設数	定期開設数・開設先・開設日		
				回数	波多江公民館	子育て支援センター
0	H19	4名	2回	0	0	0
1	H20	8名	4回	6回	奇数月第4(土)	0
*2	H21	11名	9回	12回	奇数月第4(土)	偶数月第4(土)
*3	H22	12名	6回	18回	奇数月第2(土)	毎月第4(土)
*4	H23	13名	12回	18回	奇数月第2(土)	毎月第4(土)
*5	H24 ~29	23~ 27名	9~ 13回	18回	奇数月第2(土)	毎月第4(土)

*2: かえっこ×おもちゃ病院開始、*3: おもちゃ修理体験学習開始、
公的表彰初受賞、市民提案型町づくり事業採択、*4: 工作室開設、
*5: ナース6名体制 → リユース係新設、おもちゃ箱活動開始



特技を活かして地域社会に貢献

拡大おもちゃ病院の開催実績

・おもちゃ修理体験学習

H20/10	二丈中学校
H21/7	前原南風小学校
H22/11	前原東風小学校
H23/7 ~H29/5	二丈一貴山小学校 通算7回
H25/1 ~H27/12	志摩引津小学校 通算4回
H29/11 ~H29/12	長糸小学校 1回 桜野小学校 1回)
10年間に	7校で16回

・かえっこ×おもちゃ病院

H21/9 ~H26/10	糸島環境フェス 通算6回
H22/10 ~H29/10	糸島子どもフェス 通算7回
H24/2	神在子供会
H23/8 ~H25/8	怡士の里祭り 通算3回
H25/10 ~H29/10	前原めぐもり文化祭 通算6回
H24/5 ~H25/12	西新ブ'ラバ'のイベント通算 3回
H28	糸島わいわいフェスタ
H28~29	糸島くるくるマーケット 通算2回
9年間に	8イベントで29回



参考
広報いとしま
H29年2月1日号
でも7頁に亘って
詳細に紹介



壊れたおもちゃの無償修理、小中学生への修理体験学習支援、施設へのおもちゃ遊樂



中公新書



定年後

50歳からの生き方、終わり方

楠木 新著

自営業などを除けば誰もがいつか迎える定年。社会と密着に関わってきた人も、組織を離れてしまうと、仕事や仲間を失って孤立しかねない。お金や健康、時間のゆとりだけでは問題は解決しない。家族や地域社会との良好な関係も重要だ。第二の人生をどう充実させたらよいか。シニア社員、定年退職者、地域で活動する人たちへの取材を通じ、定年後に待ち受ける「現実」を明らかにし、真に豊かに生きるためのヒントを提示する。

書籍データ

初版発行日 2017/4/20、
新装版書判 ページ数 256 ページ
定価本体 780 円 (税別)